

報道関係者各位
ニュースリリース

令和 7 年度近畿地方発明表彰において 「特許庁長官賞」「実施功績賞」を受賞

- 魚群の詳細な規模把握を通じて、漁業の安全性向上に貢献 -

古野電気株式会社(本社:兵庫県西宮市、代表取締役社長執行役員:古野幸男、以下、当社)は、2025 年 11 月 13 日に公益社団法人発明協会が主催する令和 7 年度近畿地方発明表彰において、「水中探知装置」に関する技術で、特許庁長官賞および実施功績賞を受賞しました。



令和7年度近畿地方発明表彰「特許庁長官賞」受賞者
左から)当社 開発部 音響機器開発課 大型ソナーグループ 葛原 一浩、西坂 政浩、山崎 勇輝

地方発明表彰は、地域における優れた発明・考案・意匠を表彰する制度であり、科学技術の振興と産業の発展に寄与することを目的に実施されています。

【受賞名】

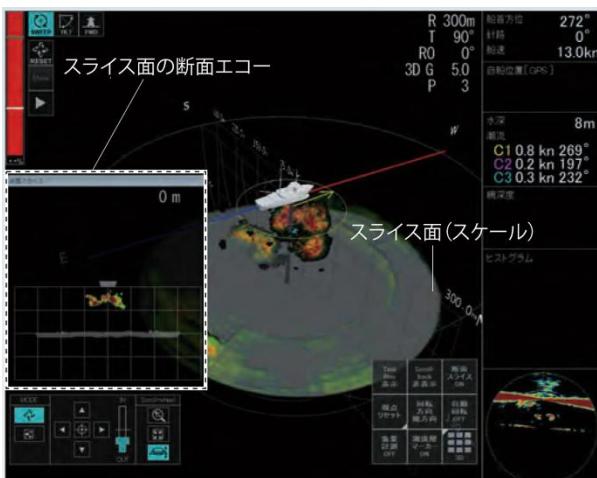
令和 7 年度近畿地方発明表彰「特許庁長官賞」「実施功績賞」

受賞内容	水中探知装置(特許第 7419086 号)
特許庁長官賞 受賞者(発明者)	古野電気株式会社 開発部 音響機器開発課 大型ソナーグループ グループ長 葛原 一浩、主査 西坂 政浩、山崎 勇輝
実施功績賞 受賞者	古野電気株式会社 代表取締役社長執行役員 古野 幸男

■受賞した水中探知装置について

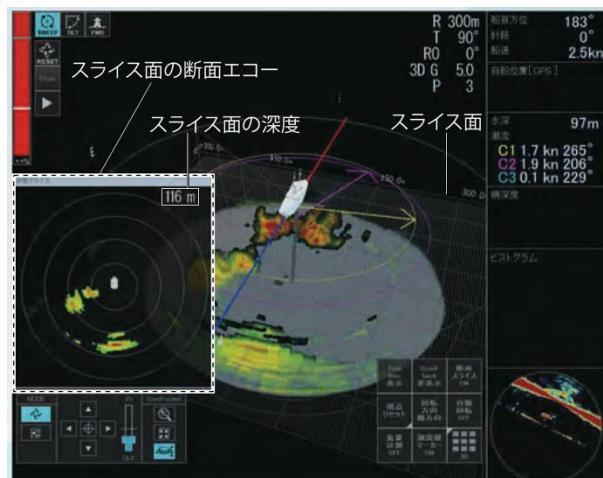
今回受賞した水中探知装置は、3次元探知を行う水中探知装置の表示方法に関して、探知された魚群を任意の断面エコーデータを表示することができます。従来、透過処理を施した3次元の魚群映像を様々な方向から俯瞰する表示方法等がありましたが、魚群内部の魚の分布状況を正しく把握しづらい課題がありました。

本発明では、超音波の送受信により3次元的に水中を探知して得られるエコーデータを用いて、海面に対して垂直な任意の平面による魚群の断面エコー画像(図1)や、海面に対して平行な任意の平面による魚群の断面エコー画像(図2)を表示できるようになり、魚群の内部における魚の詳細な分布状況を容易に把握可能とする水中探知装置が実現しました。本発明によって、捕獲しようとする魚群の規模を正しく把握できるため、例えば、魚量が多くて網を巻くのが危険であるなどの判断を的確に行うことが可能になり、漁業の安全性向上にも貢献します。



【スケール基準】
海面と垂直な面でスライスした断面映像を表示

図1 垂直断面表示



【海面基準】
海面と平行な面でスライスした断面映像を表示

図2 水平断面表示

当社では今後も事業ビジョンである「安全安心・快適、人と環境に優しい社会・航海の実現」のもと、さらなる技術革新を目指してまいります。

【令和7年度近畿地方発明表彰受賞者一覧】

https://kouekijiii.or.jp/hyosho/chihatsu/R7/jusho_kinki/index.html

以上

古野電気株式会社（兵庫県西宮市芦原町9-52 代表取締役社長執行役員 古野幸男）／ 東証プライム市場（6814）